

I 2013 年度活動報告

1. 平成 25 年度夏季 教員免許状更新講習 1

「思考力・判断力・表現力」の育成をめざす指導

— Developing critical thinking, decision making and expression in English classes —

平成 25 年 8 月 5 日（月）

- ・ 国際社会を読み解く英語力－異文化理解の視点から時事素材を教材として－
- ・ 思考力を高める英語授業－様々な thinking skills , project-based learning などを取り入れて－

■講座のねらい

新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す知識基盤社会においては、異なる文化との共存や国際協力の必要性という理想の追究もさることながら、アイデアなどの知識そのものや人材をめぐる国際競争の加速化が一層激しいものになっている。その対策としての規制緩和や制度改革が進む競争社会において、自己の能力を発揮し社会に貢献するためには、基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を見だし、解決するための思考力・判断力・表現力等が必要であると文部科学省は我が国の教育の方向を打ち出している。

第一部「国際社会を読み解く英語力」では、グローバル化の進む国際社会で通用する「思考力・判断力」を養うためには、自文化の価値判断や思考回路から脱却した異文化理解の視点が必要であることを、時事英語素材を使って演習する。第二部においては、英語の授業で「思考力・判断力・表現力」を育成する指導の構成要素は何か、その key competencies とは何かを探りながら、critical thinkingをはじめ様々な thinking skills や PBL などを用いた実際の教材展開例を考える。

○担当：東條

- ① 9：10～10：10 国際社会を読み解く英語力－異文化理解の視点から時事素材を教材として－(1)
- ② 10：20～11：20 国際社会を読み解く英語力－異文化理解の視点から時事素材を教材として－(2)

○担当：中井

- ③ 11：30～12：30 思考力を高める英語授業(1)－「思考力・判断力・表現力」をはぐくむ指導の構成要素－(昼食)
- ④ 13：20～14：20 思考力を高める英語授業(2)－critical thinking, logical thinking, creative thinking
- ⑤ 14：30～15：30 思考力を高める英語授業(3)－project /problem/task-based learning による指導－
- ⑥ 15：40～16：10 思考力を高める英語授業(4)－「思考力・判断力・表現力」をはぐくむ素材の紹介－

1.1 本学教員免許状更新講習受講希望理由（事前アンケートより）

A. この講習の受講を希望した理由はなんですか。

- ・「思考力・判断力・表現力」を育成する効果的な指導方法について学びたいと思ったから。また、異文化理解の視点について知りたいと思ったから。
- ・「思考力を高める」というのは英語のみならず全ての授業で目標とすることだと思います。それを授業でどう追求するのかのヒントをいただきたいと思います。
- ・講座のタイトルにある「思考力・判断力を高める英語授業」という言葉にひかれました。「自分が日々行っている授業は、果たして生徒の思考力や判断力を高めるものだろうか。」と自問した時、「そうではないな。」と思いました。定期テストの試験範囲を消化するために、教科書をこなすのに手一杯で、そこから生徒の思考力や判断力の育成にまで踏み込んだ授業はできていない状態です。そこで、今回この講座を受講して、少しでも日々の授業改善ができればと思い受講を決めました。
- ・日頃から生徒たちに英語の運用能力をつけてあげたいと考えていて、あの手この手を使って授業をしています。この機会にぜひ大学の先生の指導を受けて自分なりにさらに普段の授業に活かせたらと考え希望しました。
- ・昨年、8月に2講座を受講し非常に得るものが多く感動しました。免許状更新の単位は取り終えています。昨年とは違う内容なので聴講生として受講したく希望しました。
- ・教員免許講習について調べたところ、大阪女学院大学で実践的な講座が設けられていることを知り、ホームページを開いてみました。昨年度の受講者の感想を読むと、たいへん良い評価であることがわかり。興味をもちました。日頃、単に知識を植え

付けるのではなく、生徒自身に考えさせたい、そして英語で発信させたいと思っているのですが、その有効な手段が見つからず、試行錯誤しているところです。この講座の存在を知り、大変うれしく思い受講を希望しました。

- ・ 講座の内容がとても魅力的で特に「国際社会を読み解く英語力」「思考力を高める英語授業」に興味を持ったため。過去に同じ講座を受講した人が、とても勉強になったと教えてくれたのも大きな後押しになった。
- ・ 英語指導法の新たな発見を期待しているので。
- ・ 自分自身が数年間、金融系企業で国際経済について調べたことがあり、国際社会で通用する「思考力、判断力」を養う指導事例について興味をもったことが1つめの理由です。また、かねがねより、英語で思考できるよう指導する方策について試行錯誤を重ねてきており、今後さらに進めるヒントが得られればと思ったのが2つめの理由です。特に2つめの理由が重要な位置づけとなっています。また、貴学が実践的な英語学習において高く評価されていることを以前から知っていましたが、具体的にどのような指導されているのか知る機会に恵まれなかったため、この機会に、という思いもありました。
- ・ 受講した方の意見を読み、iPadを使った授業に興味があった。また、時事問題など働いていると知る余裕がなく勉強するチャンスだと思った。
- ・ シドニー大学院の修士課程を修了しました。その時に、critical thinking の大切さと指導の必要性を感じました。英語のコミュニケーション能力にスポットがあたることが多いですが、個人的には、自分の考えを英語で表現することが必要だと考えます。英語の発音がよく、日常会話ができる日本人は増えてきていますが、結局、発言する内容がなければ、海外で相手にされません。思考力を伸ばせるような指導方法を学ぶことができればと思います、受講を希望しました。
- ・ 英語学習を通じて、生徒に異文化理解を促したり、思考力を高めることができれば理想的であると思い、その具体的な方策をご指導いただけるということで受講を希望しました。
- ・ 貴校がHPで紹介されている「講座のねらい」を拝読し、共鳴と刺激をうけたから。「思考力・判断力・表現力」が国際社会で通用するために必要であるという切り口に興味を持ちました。第2部では指導の構成要素は何かを、実際の教材展開例を提示していただけたことも、期待しております。
- ・ H25年3月の講座を受講された方々のコメントも受講希望のひとつです。受講が授業へのモチベーションを高めたコメントの多さにはげまされました。
- ・ 講習料金が良心的であるのもありがたいです。
- ・ 少人数なのでじっくり受講できると思いました。国際社会が進む中で、国際社会に対応できる人材の必須科目として英語がありますが、はたして教育現場で有効に指導できているのか考え直したいです。
- ・ 日頃の授業では4技能を伸ばすことばかりに気をとられていて異文化理解の観点も表面的になっている気がします。「思考力・判断力・表現力」を育成する指導について興味をもった。
- ・ 内容が面白そうだったので。
- ・ 日頃落ちていて英語力・思考力を高める授業づくりについて考える時間や心の余裕がないのが現状で、講習を受けられる機会に知識を増やし、指導力を高めたいと思ったため。
- ・ 中学校で講師をしています。教科書の内容を飛び出し、もっと広い視野で英語を学ばせられたらと思います。難しそうに聞こえる時事素材をいかに中学生でも取り上げられるのか、事例を学びたいと希望いたしました。
- ・ 講座の内容に興味を持てるため
- ・ 普段の授業の中で「思考力、判断力、表現力」の育成をめざす指導が効率的かつ効果的にできていないと感じている。短時間で全てを網羅できるとは考えていないが、それらの力の育成をめざす指導のきっかけをみつけることができれば幸いだと感じている。従来の授業のスタイルを変える糸口を見つけたいと考えている。
- ・ 中学生の表現力を育成するのは非常に難しいと思うようになり、たくさんの方の、学んで授業に生かしていきたいと考えたから。
- ・ 同じキャンパスの高校に勤務しているため、受講しやすい環境であることと、授業内容に興味があるため。

B. この講習に期待することをご記入ください。

- ・ 英語に対して苦手意識を持っている生徒たちに「表現力」を身につけさせる効果的な指導方法を教えていただきたいです。
- ・ 授業に生かしていける知識や教材をたくさん学びたいです。
- ・ 生徒の思考力・判断力を高めるための具体的な指導方法を知りたいと思います。実際に教材を使って、どのような発展させていくかなどの実例を挙げていただけると嬉しいです。

- ・生徒たちがどうやって英語をコミュニケーションの手段として身につけていきやすいのかを知りたいと思っています。
- ・日頃の教材研究にいかせる具体的なヒントや事例をいただきたいと思います。昨年もたくさんお土産をいただき非常に感動しました。
- ・理論だけでなく、ぜひ明日からの授業で使える実際の、具体的な方策をご教授ください。英語の得意な生徒だけでなく、苦手な生徒に対してもよい動機付けとなるような教材などを教えていただければなおさらうれしく思います。
- ・今までの常識をくつがえされるのではと、期待しています。実践可能な指導方法も伝授いただけると嬉しいです。小人数なのでより濃い時間を過ごせるのではと期待しています。
- ・教授法の新たな New Method。生徒にいかにも楽しく習得させるか。
- ・最も期待していることは、英語で思考できるように指導する方策の、根本となる考え方について深めることです。指導事例そのものというよりも、指導を構成する要素としてどんなことが不可欠または優先順位が高いのか、どのように日本語の思考とかみ合わせていくのか、ということに漠然とイメージしています。もちろん、指導教材のひな形となるようなものがいくつか得られれば、アレンジして今後指導に活用できるということも期待しています。
- ・英語を通して文化や時事英語などを生徒たちにどのように伝えられるか知りたい。
- ・Critical thinking の指導方法と、思考力を伸ばす教授法を学びたいです。
- ・実践的な方法を教えていただくことを期待しますが、生徒に正しく伝えたり指導するためには、まずは教師自身が異文化を十分に理解したり logical thinking ができていたりしなければいけないと思います。この講習では一生徒として学んでみたいと楽しみにしております。
- ・講習への期待というよりは、むしろ、自分自身が講習を理解し今後の授業に活用したいという気持ちの方が大きいです。ご提示されている「ねらい」の通り実施していただければ十分です。
- ・語彙指導を中心とした読解力の養成を目標にしています。
- ・少人数なのでじっくりと教授していただきたいです。
- ・具体的な指導法を知りたいです。
- ・生徒に授業の中で英語を使わせる効果的な方法を学べたらありがたいです。最終、表現させるまで持っていくのがなかなかうまくいかず困っているのです。
- ・どのレベルの生徒にも対応できるような指導方法、力を伸ばせる工夫について知りたい。
- ・異文化理解をどのように授業に取り入れるか、どのような教材があるのかを知りたいと思います。「思考力を高める英語授業」とは期待しております。
- ・世の中の変化に応じた新しい英語授業のヒントを得たい
- ・国際社会を読み解く英語力をこの講習を通して異文化理解の視点から考えていきたい。国際社会を読み解くための英語力をどのように身につけていくべきか、指導法を探りたい。
- ・様々なレベルの生徒に対応する指導法が学べたらと思っています。
- ・生徒に考えさせたり、発言させたりする授業展開に少しでも近づけるようなヒントが得られること。

C. ご自身の英語の教科活動で日頃課題としていることはなんですか。

- ・こちらが一方的に説明する講義形式の授業を変え、生徒主体の授業づくりをすることが課題です。
- ・教師からの一方的な講義形式になるのではなく、生徒の言動活動を大切にしています。具体的には、ペアやグループでの言語活動をたくさん取り入れるようにしています。
- ・1時間の授業でもっと1人1人が英語を使う（聞く・話す・考える）活動をふやしたい。
- ・ドリル形式の問題にとどまらず、自己表現できる力をつけさせるための教材研究。
- ・できるだけ生徒に考えさせたい、好き嫌いなどの簡単なことでもいいので、自分の意見を言わせたいと思っています。自分が話すのではなく、生徒があるいは生徒同士で英語を話す機会を多く与えようと努力しています。
- ・生徒のモチベーションの維持。音読活動のマンネリ化。生徒の発音を引き出す力。
- ・現在は教科活動していませんが、来年再開したいと考えている。生徒がいかにも楽しく習得できるか。
- ・基本的な文法事項を意義がわかるように体系づけ、ただ覚えるのではなく言語活動、思考の本質的な仕組みについて深く考察させるように指導することが、高等学校教育段階での外国語学習の課題であると考えています。そこから語学の専門に進むなり、他の分野に進むなりという分岐になっていくものと考えています。どうしても日本語で、しかも感覚的に考えてしまう生徒

がほとんどであるのが現状です。ここに何らかの変化を加えたい、と思っています。

- ・声を出して正しく発音すること。
- ・現在、エッセイ・ライティングとスピーキングを通して、生徒の英語のコミュニケーション能力を伸ばしていきたいと取り組んできて2年目になります。生徒の成長も見られ、その効果は感じられるのですが、エッセイ・ライティングの添削には時間がかかり、日本人教師の中ではエッセイの指導が敬遠されることがしばしばあります。なんとか、日本人がエッセイ・ライティングの指導をもう少し取り組みやすくするためのシステム作りが現在の課題です。
- ・以前教えていた公立高校では、学力の低い生徒たちにいかに印象の残る授業をするというのが課題でした。いろいろなプリントを作ってポイントのはっきりわかる授業を心がけていました。現在勤めています英語学校では、大学入試のみならず、留学や資格取得（英検・TOEIC・TOFEL）などの目標を持つ生徒もたくさんいますので、4技能をバランスよく向上させることに重点を置いています。
- ・生徒が求めていること—受験のため、教養のためなど—を的確に把握することから授業計画を始めます。つまり、生徒の要望によって教科活動の内容が異なるというわけですが、共通していることは、英文を通して、生徒が新しい世界や事実を実現し、教材で扱われたテーマに気付き、自らが問題を提起し解決法を考えられるような授業にしたいと考えています。教材の良し悪しで授業の良し悪しが決まるといっても過言ではありません。教材選びにはかなり時間をかけています。
- ・語彙指導を中心とした読解力の養成を目標にしています。
- ・新しい文法を導入する時は、教科書の例に加えて生徒たちに直接関係のあることで、例を出し会話するようにしています。また、授業に入る前に簡単な質問を英語でします。（既習の文法を使って）Where did you go to yesterday? など
- ・生徒の学習の意欲づけ。「話す力」「書く力」を伸ばしたい。
- ・教師から一方通行でなく、生徒どうして成長していけるよう、授業のなかでも工夫しています。
- ・英語で授業を行うどころか、日本語でも話を聞いていない生徒のレベルに差があるため、授業がとまってしまう何人かの生徒を退屈させることがある。
- ・あまり外国を身近に感じていない生徒たち。英語学習とは海外に目を向けることだと思うので、私自身の経験（旅行）を話すことより興味をもたせようと努力しております。
- ・生徒に英語への興味を持たせ、学ぶ必要性を実感させること
- ・教材を効果的に利用し、国際的視野で考えたり、見たりできるような授業を心がけているが、教師側が国際的視野で物事を見たり、考えたりしていかなければ現状はかなり偏った授業にならざるを得ない。普段から、公正かつ公平に物事を捉えるように心掛けている。
- ・できるだけ実践に近い形で考えた文を使ってアプローチし、使っていける力を養うこと。
- ・生徒に発言させるように方向づける授業にすることが苦手で、講義形式になる傾向なのでできるだけ生徒に発言させるよう心掛けている。

1.2 講習評価・受講コメント

■文科省報告書式による講習評価（対象教員及び聴講教員：26名）

評価基準（4段階評価）

- 4：よい（十分満足した・十分成果を得られた）
- 3：だいたいよい（満足した・成果を得られた）
- 2：あまり十分でない（あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった）
- 1：不十分（満足しなかった・成果を得られなかった）

I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価（4段階評価）

1. 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。
2. 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。
3. 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。
4. 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。
5. 配付資料等使用した教材は適切であった。

平均	4	3	2	1
受講者 26名	3.81	21人	5人	

II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価（4段階評価）

6. 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。
7. 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。
8. 各教育活動に係る学問分野の最新の研究動向、これまでの研修等では得られなかった理論・考え方・指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。
9. 受講前よりも講習内容への興味が深まり、教員としての知識技能の厚みや多様さを増す一助となった。

平均	4	3	2	1
受講者 26名	3.92	24人	2人	

III. 本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価（4段階評価）

平均	4	3	2	1
受講者 26名	3.96	25人	1人	

本学依頼受講者記述講習コメント

- ここ数年、悩みながら授業を行っておりました。生徒もどんどん変化していく中で、どんなふうに英語を教えるべきか、系統立てて考える機会が与えられて、うれしく思っています。「英語で行う授業」の実態も映像を見せていただき、ヒントをいただいたと思います。「話し言葉」に重点を置くのではなく、何を伝えるのかという内容を重視する必要があるというのは、頭で理解しながらも心に響いてきました。これからの課題になりました。ありがとうございました。
- 認定試験で書かせていただきましたが、先生方の講座は講師をめざしている（過去に教員経験あり、現在講師登録をして勉強中）私にとっては、目からウロコの内容でした。授業を行う上でのヒントをたくさんいただきました。今後もこのような講座に参加して、知識や授業実践力を身につけたいです。
- 充実した時間を過ごすことができました。英語授業は様々な形態を取ることができるので、更に楽しい授業ができるのではないかと思います。
- 久しぶりに学生に戻った気分が充実した一日を過ごすことができました。自分の頭の中ではっきりとしたイメージがないまま、こんなふうに教えたいと思っていたことを系統立てて教えていただき、スッキリしました。まだまだ学ぶことも多く、生徒達に伝えることも多いと実感しています。用意していただいた教材が盛りだくさんで、この夏休みにじっくり読み、勉強したいと思います。ありがとうございました。
- 「どうして英語を勉強しないといけなの？」毎年子どもたちから出るこの質問に、私なりの答えをいつも用意して、子どもたちには話してきました。また、「どうやったら英語が出来るようになるの？」という質問にも、今まで何度となく答えてきました。しかし、今日の講習を受けたことで、その答えを更に具体的でしかも論理的に子どもたちに示せることが出来るようになった気がします。自分の中でもう一つクリアでなかった部分が、今日の講習で自分にもはっきり分かり、英語を教えるものとしての使命を改めて感じる事ができました。さらに、今後はその気づきや使命を実際どうやって授業に活かしていくのか、どうやったら子どもたちが英語を使って人とコミュニケーションがとれ、自分の意見が言えるように指導してやれるのか、まだまだ自分自身の研修、勉強の必要性を感じました。本当にありがとうございました。
- 「話せる英語」と言っても発する contents が生み出す basic 作りは、English であれ Japanese であれ、重要である。TOEFL などの導入はある意味重要だと言えるけれど、そのための基礎作りは重要で、優先度はそちらの方が上である。また、Japanese での literacy 能力の時機は5～6年生だと言われているので Japanese で literacy をちゃんと身につけ、それを basic で logical thinking や thinking skills, America の low context culture を学べば、Japanese と English を logical で comparison できより quality はアップすると思った。
- 大変興味深い内容であったという間に時間が過ぎました。固い頭が柔らかくなりました。ありがとうございました。
- 講師の先生方の熱意が伝わり、「自分も頑張ろう」という気持ちになりました。有効なサイト、スピーチなども紹介していただきありがとうございました。
- 英語力向上のためのスキルや実際の授業ノウハウといったことよりも、「今、育成すべき英語力は何なのか」ということをしっかり考えることが出来た講習でした。そういったアプローチの方が意外と具体的な授業での活用方法がイメージでき、私にとってはよい機会となりました。
- 英語授業を通して、思考力、判断力、表現力を高めるということは素晴らしい発想だと思いました。これまでの英語を教える中で、

一番大事なことが欠落していたのだと反省させられました。どうすれば、生徒にこの critical thinking の力をつけさせたいのかを様々な手法や実際の現場での取り組みを紹介していただき、本当に参考になりました。まずは自らの発想を転換し、新しい授業を展開しなくてはいけないと思いました。

- ・中学校なので、時事問題を授業で取り上げるのは少し難しいかと思いました。ただ、教科書の内容のような、ただ新出の文法を取り上げるより、実際に使われている英語を取り上げることで、生徒たちの頭に入りやすいように思います。これを機に、簡単なものを探して、実際の授業で取り上げてみたいと思います。
- ・テキスト以外の投げ込み教材を活用することをこれまでではしていませんでした。本校では2年生よりディベートに取り組んでいますが、1年生から中井先生がされていたように、即座に判断し、その根拠や理由をすぐに相手に伝える日々の訓練が大切だと思いました。日頃から意見を構築する機会を与えていきたいと思います。また、外国人がよく尋ねる質問に英語で解答を書かせるという活動も興味深く思いました。積み重ねることにより、対話の内容が深められると思います。是非実践させていただきたいと思います。時事教材を取り入れた授業にはずっと取り組んできました。英文の記事にも文化や価値観が見え、映像にも海外の文化があり、扱い方も楽しいです。生徒のレベルに教材を作り替える苦労はありますが、今日の講義を聴いてまた、頑張ろうと思います。
- ・時事英語には興味があるので、その具体的な素材、また Wordle などの useful sites の紹介などとても有益でした。iPad を用いての説明も良かったと思います。「思考力を高める授業」は頭を柔らかくするための問題が、私の頭の固さを思い知らされました。きっと生徒の方がもっと簡単にわかるのでしょね。先生の熱心な講習ありがとうございました。ただ、プリントの字が細かくて senior eye の私には復習するのがつらいです。
- ・英語授業のスタンスを再構築する必要性を痛感させられる内容でした。どちらも豊富な資料で咀嚼するのに時間がかかりそうですが、きちんと丁寧に読んで自分のものにしたいと思います。ありがとうございました。
- ・さすが英語教育の素晴らしい大学だと受講して再認識しました。私も現役の学生時代に学びたかったと思いました。
- ・特に困ることもなく講習を受けることができました。ありがとうございました。頭が疲労したときにお茶菓子がいただけたのが特にありがたかったです。
- ・日々の授業では、生徒に input するばかりで、output させる場面も少なく、intake に至っては、レッスンに質問が一つできればよいほう。プリントにして配るだけで、グループで話し合わせるなどの工夫をこななかったなあと反省することしきりです。今日はいいアイデアをたくさんもらったので、これを生徒にフィードバックしていきたいと思います。実り多い一日でした。
- ・とても勉強になりました。私も、日々、現場で指導しながら、指導法も各先生によって千差万別な気がしますし、どう言う形が生徒達にとって一番良いのか、さぐりながら今日まで来たという感じです。今日は、その答え探しになるヒントをたくさん頂いたように思います。
- ・あっという間に時間が過ぎ、学生時代を思い出しました。「こんな授業がしたい、こういう話を伝えたい」学生時代に思い描いていた自分の理想像をまた思い出すことができました。とても貴重な情報をありがとうございました。
- ・聴講で参加しました。たくさんの資料をありがとうございました。友達が努めている群馬国際アカデミーという学校で、“Critical Thinking” を身につけさせることを大切にしていると聞いて、どうやって指導すればいいのかと、思っていたところでした。とてもわかりやすく説明していただきました。自分が明日から実践するにはかなり難しいことで、教材研究や授業中に意識を変えていかなければ行けません。一つでも発問の仕方を変えていけるようにしていこうと思いました。また、東條先生の講習では、はじめて iPad に触れました。とても有効なものなので、使いこなして良い教材を生徒達に与えていけるようにしようと思いました。ありがとうございました。
- ・さまざまな method を勉強させていただき、現場で活かして英語指導していきたいと思います。貴重な情報をありがとうございました。
- ・非常にわかりやすく良かったと思います。自分磨きが必要だと痛感しました。ありがとうございました。
- ・普段なかなか自分の授業を振り返るということをしていないなと反省しました。たくさんの資料を提供していただいて、いろんなヒントもいただいたので、2 学期以降の授業に活かしていきたいと思います。生徒を自ら積極的に動かして、英語を学ぶことが楽しいと思えるような、もっと英語で表現したいと思わせるような授業ができるよう頑張りたいです。ありがとうございました。
- ・私が勤務する中学校では、小学校英語とのギャップが大きいことも達が戸惑っているように毎年感じます。楽しく、遊び感覚だった授業から急に読む・書くが加わったことが原因だと思います。今回の授業でそのギャップもアイテムを使い、仲間と考え合ったりして自分で感じる事があれば、少しずつ埋まって苦手意識もすくなくなるのではないかと思います。子ども達は目で見て耳で聞いて感じる事の方が多くあると思います。今回の内容は授業で使ってみたいものばかりですが、機器がそろっていないの

で、ほとんどが実費なのが現状です。少しずつそこが変わっていけばと思います。

- 今日一日だけでは、自分の授業の仕方が変化させられるような感じがしないので、連続して受講したいと思いました。「英語力」のまえに話すための知識や自分なりの意見・感想を持つことが重要だと思うので生徒達の生活習慣や家庭環境がとても大事だと思います。日頃、自分たちが生活している社会にどれほど興味を持ち、学ぶ意欲を持っているか、持つことができるか、LINE やバーチャルの世界でしかコミュニケーションをとれない、そしてすぐにトラブルになる現状にとても不安になりました。英語科教員として、英語を使って生きる力、思考力判断力、表現力を養うため、少しでも自分の周りのいろいろな物事に興味を持ち、異なる価値観や文化に触れ、他を除外しない理解しようとする力をつけさせたいと思います。本日はありがとうございました。
- 日々の授業では、テスト範囲を消化するのに必死で、教材を表面的に教えているだけでだと反省しました。Input の連続で Output どころか Intake なんて全くできていない状態です。今回の講習をきっかけに少しずつ工夫をして思考力を高める授業を目指して行きたいと思います。

